

# 第 40 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事メモ

日 時：令和 2 年 7 月 28 日(火) 13:00~14:25

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

### 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、  
金城 知事公室長、池田 総務部長、金城 企画調整統括監、松田 環境部長、  
宮沢 県警本部長、名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、長嶺 農林水産部長、  
友利 産業雇用統括監、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、  
伊川 会計管理者、半嶺 教育指導統括監、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、  
糸数 保健衛生統括監、真栄城 医療企画統括監

### 2 報告事項

#### (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から新たに 21 名の新規陽性者の発生について報告があった。
  - ✓ 88 件の行政検査の結果 11 名の陽性者が、保険診療によって 10 名の陽性者が確認された。
  - ✓ 確認された陽性者のうちには、那覇市松山の繁華街の従業員や利用者が多く含まれている。
  - ✓ 1 日に確認された陽性者数としては過去最多を更新した。
  - ✓ 本日確認された新規感染者数は含まれていないが、警戒レベル判断指標の状況は、7 つの指標のうち 3 つが第 3 段階に達しており、1 つが第 2 段階、3 つが第 1 段階を示している。
- 病院事業局から、県立病院に入院している患者の状況等について報告があった。
  - ✓ コロナ患者の急増に伴い、専用病棟を準備することも検討しているが、空床補償や看護体制、コロナ以外の患者への対応等が課題となってくる。
  - ✓ 小児のコロナ患者が増えてきており、医療現場からは看護師以外にも保育人材の確保を求める声が上がっている。
  - ✓ 患者の急増に対応するため、軽症者用宿泊療養ホテルの早期運用開始を求める声が上がっている。

## (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 米軍基地内で新たに3名の新規感染者が確認されたことについて総括情報部から報告
  - ✓ 隔離期間解除となった人は130名、隔離期間中の方は109名いる。
  - ✓ 7月25日・26日に、キャンプハンセンと普天間基地の従業員を対象に実施したPCR検査のうち、700名程度まで結果が判明しているが、全て陰性。

## 3 議 題

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル第2段階における実施内容について

- 沖縄県内における流行状況等について、総括情報部から報告した。
  - ✓ 警戒レベル判断指標の状況は、①入院患者数、②病床利用率、④新規感染者数、については第3段階のレベルに達している。③重症病床利用率、⑤感染経路不明な症例の割合、⑦入院1週間以内の重症化率、については第2段階の範囲に収まっている。
  - ✓ 感染者の居住地別に見ると、那覇市や中部地域で8割以上を占めており、全県的な流行ではなく、地域的な流行が始まっているものと思われる。
  - ✓ 7月に入ってからからの新規感染者は30代以下の若い世代が6割以上を占めている。また、無症状者や軽症者が多い。
  - ✓ 感染経路としては、夜の繁華街での感染が目立つ。
  - ✓ これらの状況から総合的に判断すると、県全体の警戒レベルは第2段階にあるものとする。
- 警戒レベルに応じた対策の実施内容について、各部局から所管する項目について説明した。

#### <主な意見>

- ✓ 那覇市保健所が、松山地域を対象に、注意喚起のチラシを配布する事について情報提供があった。

- ✓ 感染が拡大している地域にある施設なのか、感染が確認されていない地域にある施設なのかを勘案した上で、各種施設の閉鎖や休業については、対応方針を統一する必要がある。
- ✓ 警戒レベルに応じた実施例については、HP で既に公表されているので、公表されている内容と異なる事について、説明が必要ではないか。
- ✓ 米軍基地に対して防疫体制の強化を要請することについても、盛り込む必要があるのではないか。

### 3 閉 会

- 第2段階の警戒レベルに対応した対策の実施内容について、知事メッセージとして発信することを確認して、閉会とした。